



生徒が今まで取り組んできた成果を発表

猪苗代高の生徒が学習成果を発表

地球探究「猪苗代学」学習発表会

猪苗代高校の地球探究「猪苗代学」学習発表会が1月25日に学びいなかで開かれました。1年生が「防災・観光・農業」の3分野について個人ごとにポスターを使って発表。2年生はテーマ別に6班が、3年生は個人研究を共同で2班が発表しました。このうち2・3年生の「外来種ウチダザリガニの活用」の取り組みが、福島民報社主催の「第10回ふくしま産業賞」で学生部門銀賞を受賞し、2月7日に表彰されました。

猪苗代支援学校の生徒が完成報告

調味料「うまくてごめんな山菜」を開発

猪苗代支援学校高等部の生徒は2月4日、学びいなかで吾妻食品と共同開発した商品「うまくてごめんな山菜」の完成を二瓶盛一町長に報告しました。3年生の青木大輝さんと2年生の星野茉莉亜さんが、猪苗代町を元気にするため商品開発に至ったことなどを説明。「うまくてごめんな山菜」は、吾妻食品の商品「うまくて生姜ねえ!!」にワラビやタケノコなどの山菜を加えたもので、パッケージや山菜のイラストも生徒が考えました。



左から吾妻食品の佐藤弘一社長、青木さん、星野さん、二瓶町長

アグーナリーの結果を町長に報告

第13回国際障がいスカウトキャンプ大会

昨年8月に本町で開催された第13回日本アグーナリー（国際障がいスカウトキャンプ大会）の高崎友延実行委員会委員長は2月25日、町役場を訪れ、結果を二瓶盛一町長に報告しました。高崎委員長は、大会の開催意義やテーマなどを説明。国内外から約950人が参加したこの大会は、キャンプを通じて障がいの有無に関わらずお互いに理解を深め、人格と個性を尊重し合う社会の実現を目指して、4年ごとに開催されています。



二瓶町長に結果を報告した高崎委員長(中央)とボーイスカウト猪苗代第1団の山田幸一団委員長(右)

海上自衛隊への入隊予定者を激励

町自衛隊協力会激励会

町内の自衛隊入隊予定者激励会は2月25日、町役場で開かれました。町自衛隊協力会副会長の渡部昭副町長が、令和7年度入隊予定者の成田泰世さん(半坂=喜多方桐桜高卒)に激励金を手渡しました。自衛隊福島地方協力本部の栗城茂幸本部長が「国民の期待に応えられるような自衛官になることを期待します」とエールを送り、成田さんは「教育訓練で多くのことを学び、同期や先輩に認めてもらえるように頑張ります」とあいさつしました。



激励を受けた成田さん(前列中央)と関係者ら



Pick Up

今月の話題

大事にしよう地域の つながり・支え合い

半坂地区の祭りやサロンを紹介した参加者。左から宇月信子さん、長浜洋子さん、コーディネーターの橋本泰典さん

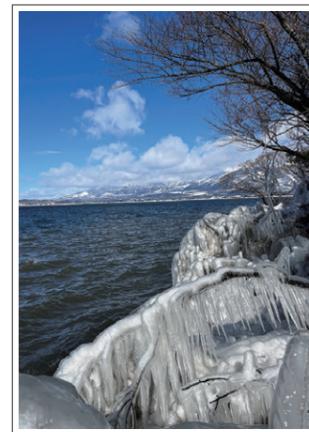
町が主催する地域共生町民座談会は2月28日、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンターの池田昌弘理事長を講師に招いて、学びいなかで開かれました。

住み慣れた場所ですら安心して暮らしていくためには、誰もがどこかで誰かとつながり、支え合う関係があることが大切です。この座談会では、地域行事や伝統行事、地域のサロンなどによるさまざまな「つながり」について、みんなで話し合いました。

池田理事長は、祭りなどのイベントでつながりが深まり地域の安心安全のもとになっていることや、気にかけてくれる友人の存在が大切であることなどについて講演。参加した町民らは、自分たちが住む地区の事例を紹介しました。

木地小屋地区では、秋に男性と女性に分かれて地区の作業をします。老人クラブでは、子どもたちが遊ぶ公園の草むしりや花植えをします。作業が終わった後にはみんなで食事をしたりお茶飲みをしたりして、親睦を深めています。

最後に、座談会に初めて参加した鈴木清孝さんは、「それぞれの立場で、自分のできる範囲でつながりを広げていけばいいのでは」と感想を話しました。



【撮影日】2月21日
【撮影場所】天神浜

今月の表紙

猪苗代湖・天神浜付近の湖岸に現れた自然が作る冬の芸術「しづき氷」。強く冷たい西風にあおられ、樹木に着氷したものです。国内では珍しい現象といわれています。天神浜の駐車場から南側の林を抜けていくと見ることができます(1月上旬～2月中旬が見頃)。

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 まちのわだい
- 04 大雪により猪苗代町に災害救助法が適用
- 06 2025 春の旅 お手紙募集/地域おこし協力隊通信/スクールトピックス
- 08 いなわしろタウンページ
- 14 暮らしの情報広場
- 16 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー



町民向け情報配信



ios 用



Android 用